

2026年2月3日

報道関係各位

GMOペイメントゲートウェイ株式会社

GMOペイメントゲートウェイ、国内PSP初、 LLMによる探索とAI検索を備えた決済開発ドキュメントを整備 ～AI時代に合わせ、日本の決済開発環境をアップデート～

GMOインターネットグループのGMOペイメントゲートウェイ株式会社（代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、AI時代の決済開発環境に対応するドキュメント基盤を、国内PSPとして初めて^(※1)整備しました。

オンライン総合決済サービス「PGマルチペイメントサービス」において、大規模言語モデル（LLM）を活用した情報探索の場合でも、開発者が確認する仕様が適切に参照されるようドキュメント構造を再設計します。これにより、回答精度の向上を図ります。

なお、2026年2月3日（火）より、本ドキュメントを一部加盟店および開発会社向けに先行公開し、フィードバックを反映しながら改善を進めたうえで、2026年3月の本公開につなげていきます。

（※1）日本市場を主なサービス対象とするPSP（決済サービスプロバイダー）であり、LLMによるWeb探索を前提としたドキュメント構造への再設計とAI検索機能の導入を兼ね備えたケースとして初。GMO-PG調べ。



【背景】

日本のオンライン決済は、クレジットカード決済に加えコンビニ決済やQRコード決済など、多様な決済手段が併存しています。その結果、決済システムの構成は複雑化し、開発者は設計や実装の過程で、決済手段ごとに異なる条件や運用上の前提を含む仕様を横断的に参照しながら判断を進める必要があります。

また、不正対策などのセキュリティ対応をはじめ、法制度や脅威動向といった外部環境は日々変化しており、開発時に考慮すべき条件は常に更新されます。こうした環境では、仕様の読み違いや参照漏れ、前提条件への理解不足が、そのまま品質や開発スケジュールに影響を及ぼす可能性があります。

一方で、開発者の情報探索の方法も変化しています。ドキュメントをページ単位で読み進めるだけでなく、

LLM に問い合わせを投げ、関連情報を横断的に参照する探索が広がっています。このとき、情報が人にも LLM にも解釈しやすい構造で整理されているかどうかが、開発における判断の速さと正確性を左右します。

GMO-PG は、年間 21 兆円超^(※2) の決済処理を取り扱う中で得た実運用の知見を、開発ドキュメントとして整理し、LLM による探索と人による参照の双方に適した構造で提供します。

(※2) 2025 年 9 月末時点、連結数値。

【再設計した開発者向けドキュメントの概要】

本ドキュメントは、以下の 2 点を軸に構成しています。

1. LLM による Web 探索を前提としたドキュメント構造への再設計

開発者のビジネスシーンや決済手段ごとのユースケースを拡充するとともに、「PG マルチペイメントサービス」の基本情報やドキュメントのリンク集などを LLM 向けに整備した「llms.txt」形式で提供します。

これにより、LLM を活用した情報探索においても、開発者の問い合わせに対して仕様を考慮した参照が行われやすくなり、回答精度の向上につながります。

2. AI 検索機能の導入

ページ構成や検索キーワードに依存せず、検討中の内容や疑問から関連情報を横断的に参照できる検索機能を提供します。設計検討から実装までの過程で、情報探索の負担を抑え、参照効率を高めます。

あわせて、接続方式ごとに分散していたドキュメントを 1 つのドキュメントサイトに統合し、検討から設計、実装までを一連の流れとして進められる構成としています。

【PG マルチペイメントサービスについて】

(URL : <https://www.gmo-pg.com/service/mulpay/>)

クレジットカード決済をはじめ、コンビニ決済や QR コード決済など 30 種以上の多様な決済手段に対応するオンライン総合決済サービスです。事業者のビジネス形態や成長フェーズに応じ、柔軟な決済基盤を提供しています。

また、OpenAPI 仕様に基づいた設計・実装を進めやすい開発方式を採用するほか、高いセキュリティや不正検知機能を備え、EC・デジタルサービス・BtoB 取引など幅広い分野のオンライン決済を支えています。あわせて、開発者が必要な情報に正確にたどり着けるよう、ドキュメントや参照環境の整備も継続的に行っていきます。

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

オンライン化・キャッシュレス化・DX などを支援する決済を起点としたサービスを提供しています。年間決済処理金額は 21 兆円を超えており、オンライン総合決済サービスは EC 事業者や NHK・国税庁等の公的機関など 15 万店舗以上の加盟店に導入されています。

決済業界のリーディングカンパニーとして、オンライン総合決済サービス、対面領域での決済サービス、後払い・BNPL (Buy Now Pay Later)、金融機関・事業会社への BaaS 支援、海外の先端 FinTech 企業への戦略的投融資など、決済・金融技術で社会イノベーションを牽引し、持続可能な社会の実現と社会の進歩発展に貢献してまいります。(2025 年 9 月末時点、連結数値)

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMOペイメントゲートウェイ株式会社
 企業価値創造戦略統括本部 広報部
 TEL : 03-3464-0182
 お問い合わせ：
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=767>

【サービスに関するお問い合わせ先】

●GMOペイメントゲートウェイ株式会社
 イノベーション・パートナーズ本部
 TEL : 03-3464-2323
 お問い合わせ：
<https://contact.gmo-pg.com/m?f=790>

●GMOインターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 新野
 TEL : 03-5456-2695
 お問い合わせ：<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMOペイメントゲートウェイ株式会社】(URL : <https://www.gmo-pg.com/>)

会 社 名	GMOペイメントゲートウェイ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 3769)
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂1丁目2番3号 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 相浦 一成
事 業 内 容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資 本 金	133億23百万円

【GMOインターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMOインターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50億円

Copyright (C) 2026 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.